

スマートテレビ時代における字幕等の在り方に関する検討会
CM字幕ワーキンググループ（第5回）議事要旨

1. 日時

平成26年6月10日（火）18時00分～18時40分

2. 場所

総務省8階 第1特別会議室

3. 出席者

(1) 構成員

音主査、寺島主査代理、木村構成員、後藤構成員代理（高橋構成員の代理出席）、澤田構成員、島田構成員、菅原構成員、林構成員、藤川構成員

(2) オブザーバー

藤田主査（内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官（障害者施策担当）付）、仲課長補佐（経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課）

(3) 総務省

福岡情報流通行政局長、南大臣官房審議官、長塩地上放送課長、徳光地域メディア室長、梶田地上放送課課長補佐

4. 議事要旨

(1) 事務局説明

事務局より、資料に基づき、取りまとめ（案）について説明が行われた。

(2) 意見交換（構成員等の主な発言は以下のとおり）

○寺島主査代理

- ・2ページに追加した障害者権利条約の記述については、単純に「1月に批准した」でよいのではないか。

○木村構成員

- ・12ページのBS放送への取組について、課題としては認識しているものの、視聴ターゲットや経営的な課題については個別的な事項であると言えるため、より一般的な記述としていただいたほうがよい。

○澤田構成員

- ・2ページの国内の難聴者人口2,000万人の中には高齢による難聴者も含まれている

と思う。CMへの字幕付与は、耳の不自由な高齢者にも有効であることを追記したほうよい。

○菅原構成員

- ・安全・確実なCM運行を前提として、トライアルを拡大できればと思う。
- ・普及目標について、番組では字幕付与可能な番組を対象としているのに対し、字幕付きCMは全てのCMが対象であるかのような記述となっており、統一感がない。また、字幕付きCMについても、番組同様、段階的に増やしていくような目標設定のほうが取り組みやすいのではないか。
- ・13ページの国の支援策について、より積極的に書けると取り組みやすい。期待も込めて意見としたい。

○藤川構成員

- ・放送の環境を使わせていただく立場にあるが、字幕付きCMへの参加企業が増えるように取り組みたい。取りまとめ案はきちんとまとめていただいた。

○島田構成員

- ・字幕付きCMを取り扱える広告会社、制作会社を増やすよう取り組みたい。加えて、広告主側にも積極的な提案をしていきたい。

○後藤構成員代理

- ・13ページの「なお」以下については、広告主の規模は幅広く、考え方も様々であること、マーケティングツールとしての広告という位置づけであることをご考慮いただきたい。広告主のスピード感に差が出てくるのが現実であることを理解していただきたい。

○音主査

- ・三団体の連携について、12ページにあるように協議会をつくって取り組んでいくということで木村構成員よろしいか。島田構成員、藤川構成員もよろしく願います。

○木村構成員

- ・三団体の密接な連携が必要。協議会の具体的な中身については十分話し合ってください。

○澤田構成員

- ・11ページの広告主や国民への周知について、情報発信のところに、字幕付きC

Mの意義の周知についても書いてほしい。聴覚障害者の方や耳の聞こえづらい高齢者の方にとって、CMに字幕が付いていないことがどれほど不便か、字幕が付くことによってどれほど便利かということが知られていないように思う。

○寺島主査代理

- ・きちんとまとめてくれたことに感謝。難聴者2,000万人の中にCMに字幕がほしいと希望する方がたくさんあると思う。検討会の取りまとめが、字幕付きCMの増加という具体的な結果に結びつくことを期待したい。障害当事者の参画や意見の反映についても引き続き検討していただきたい。

○音主査

- ・第3回親会が6月下旬に予定されているので、事務局においては本日の議論も加味して取りまとめの内容を整理しておいてほしい。
- ・資料の整理と親会への報告については私にご一任願えますか。

(構成員から異議なしとの発言あり)

(3) 福岡情報流通行政局長挨拶

ワーキンググループの最終回に当たり福岡情報流通行政局長から挨拶が行われた。